

<避難訓練にて>

災害時よく耳にする想定外だと命が危険にさらされます。想定外をできるだけなくすために訓練を行います。

今日の訓練から学ぶもの、予告がなかったので瞬時に危険を想定しなければなりません。まずは状況の正確な把握です。今日の避難訓練は火災想定です。火災の場合の鉄則は火元に近づかないこと。今回は理科室が火元です。理科室に近づかないような避難経路を取ること。安全で迅速な避難のためには慌てず「おはしも」の語呂合わせを徹底することです。もう何回もやっているのだからここでは説明しません。余裕があれば窓をどうしますか？これもいままで言われてきたことと思います。このようなことは危険予測能力、危険回避能力という技術的な部分です。

次に気持ちの部分。昨日話した *g i v e* と *t a k e* の気持ちの部分です。今回の台風でもまわりに避難の呼びかけをしながら犠牲になってしまった人がいます。*g i v e* の気持ちは大事ですが、まずは自助、自分の命を守ることが第1優先です。その上で共助、周りのために何ができるかを考えてください。

秋保地区は高齢の方がたくさんいます。中学生は地域の大きな力となります。自分、そして家族の安全を確保できたならば次に地域のために力となってください。